履歴書

2020年 08月 31日現在

ふりがな	イ・	ヘグン			
氏名	李慧	 養君		男·女	
生年月日	1	992年 10月 17日生	(満2	7歳)	
ふりがな	チバ	ケンサクラシカミシヅ 1161-12 フ	プラーンドル4ー	1 0 1	
現住所	〒 2	85 - 0486			
千葉県佐倉	市上志津	1161-12プラーンドル4-	-101		
(電話)	無し		(携帯)	090-9838-1331	
(E-mail)	godke	er456@gmail.com			
年	月		学 歴・職	选 歷	
			学歴	<u>*</u>	
2011	2	慶州(キョンジュ)情報高等学校経営情報学科卒業			
2011	3	大邱(テグ)大学校経営学科入学			
		経営学専攻			
2016	11	韓国情報システム学会'大学生 IT コンテスト'大賞			
2018	3	大邱(テグ)大学校経営学科卒	業		
			職歴	<u>*</u>	
2014	3	大成(テソン)産業注油員8ヵ月勤務			
2018	3	韓国電子金融3ヵ月			
2018	8	慶州(キョンジュ)テディ・ベア博物館2ヵ月			
2020	3	3 (株式会社)NAOS (アエロフロートロシア航空, ETIHAD 航空ハンドリング)			
				以上	
					_
-					

年	月	学 歴・職 歴
年	月	免 許・資 格
2019	12	JPT 6 0 5 点(JLPT 2 級と同様)
2019	12 08	JPT 6 0 5 点(JLPT 2 級と同様) IT パスポート

本人希望記入欄(特に待遇・職種・勤務時間・その他についての希望などがあれば記入)

大学に参加していた IT ビジネスモデルコンテストでは、ビジネスモデルは、開発したが、実質的なスマートフォンアプリケーションを開発していなかったことに対する未練を持つようになり、日本で地上の航空職として勤務しているとき、YouTube を介して簡単な Android のアプリケーションを開発し、さらに興味を持つようになり、実際に実装されていることを確認するプロセスを介して多くの達成感を感じるようになりました。実際のプロジェクトを進行して、お客様の独自のアプリケーションを作成し、メンテナンスをしていると思います。私はそのようなお客様に入って実務経験と教育を通じて、様々な知識を蓄積して活用したい支援することになりました。

職務経歴書

2020年08月28日現在 氏名 李慧君(イヘグン)

■職務要約

NAOS株式会社に入社後、約1年間 主にアエロフロートロシア航空とエティハド航空のエージェントを担当しました。 迅速で正確な手続きや搭乗するお客様が満足できるスムーズな搭乗手続きをし、決まった時間にフライトができるよう にしました。そして到着したお客様の荷物が未着になった時に安全にお客様の荷物を受け取って配送しました。

■職務経歴

株式会社 NAOS 事業内容:空港職員の派遣業 契約社員 資本金:2千万円(2018年度) として勤務

従業員数:20人

2019年02月 【業務内容】

2020年03月

・チェックインカウンターでのチェックイン

- 搭乗ゲートでの乗り継ぎお客様チェックイン
- 搭乗手続き
- ・受託手荷物が未着になった際の対応
- ・未着の受託手荷物の捜索

搭乗ゲートアナウンス

到着した受託手荷物の配送

【主な担当航空会社】

- エティハド航空
- アエロフロートロシア航空

【主な取り組み】

・現地の調査によりサービス品質を向上

航空会社に対しては迅速で正確な手続きをして定刻に離陸できるようにしました。 搭乗するお客様に は長時間のフライトなのでいい席を確保すること、 受託手荷物が未着になったお客様の荷物を確保す ることに最善を尽くしました。これにより航空会社とお客様から高い平価を得ることができました。

■テクニカルスキル

種類		使用期間	レベル
Adobe	Photoshop	4 カ月	知識レベル
言語	HTML	4 カ月	知識レベル
	CSS	4 カ月	知識レベル
	JavaScript	3 カ月	知識レベル
	Java	3 カ月	知識レベル
ポートフォリオ	https://gooniii.github.io/resume/main.html		

■PC スキル

Word	書式設定、表の挿入、余白・サイズなどのページ設定が可能なレベル
Excel	簡易グラフの作成、足し算、引き算などの四則演算が可能なレベル
PowerPoint	レイアウト図の作成、新規資料作成の使用が可能なレベル

■資格

JPT605 点(JLPT2 級と同様)	2018年12月取得
IT パスポート	2020年08月取得

■自己PR

<事業性を分析する方法とチームワーク>

大学時代、韓国の情報システム学会が主管した「大学生 IT プロジェクトコンテスト」に参加しました。与えられた課題は、E-Business に関連するビジネスモデルの開発でした。チームを構成し、チームメンバーとアイテムを選定する過程で、大邱大学で障害者に配慮した大学というタイトルがあり、これをもとに「聴覚障害者のためのバリアフリー映画のストリーミングアプリケーション」というアイテムを考えるようになりました。当時は、YouTube やネットフリックスのような字幕サービスを持つVOD ストリーミングプラットフォームが韓国にはまだ浸透しておらず、聴覚障害者が映画を鑑賞する際に多くの不便を感じていることを、様々な材料を使用して把握しました。また、校内にある障害者サークルを対象にアンケート調査をした結果、消費者のニーズがより一層しっかりあり市場性があることを把握してビジネスモデルを開発し、収益性モデルまで開発しました。当時、私はチームのチーム長の位置からチームメンバーの様々な利点を生かし業務を分担し、チームメンバーは自分の仕事を誠実に取り組み、絶え間ないコミュニケーションを通じて不足な点を克服した結果、コンテストの対象という成績を収めることができました。

<目標の設定と適切な計画を策定し、実行を通じた目標達成>

日本に初めて来たのは、2014年でした。当時、私は日本での旅行をして魅力を感じるようになり、その後も3回日本に来ました。2018年の最後の日本旅行を通じ、日本の社会や文化を学ぼうという決断をし、日本での就職を目標と設定し、日本語の勉強と資金調達をすすめました。最終的には、日本での就職のために韓国産業人力公団が主管した日本の地上航空直コースに参加して研修を修了し、最終目標である日本の就職を実現します。私は日本の就職という目標達成を介して与えられた機会と環境で適切な計画を策定し、これを実行して、最終的に目標に達しました。

今年3月には新型コロナウイルスの影響により職を失ってしまいましたが挫折せずに、現在は、日本のIT企業の就職を目標に設定し、このための計画的な資格取得とプログラミングに関する学習を実行しています。

以上